

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターひこばえ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R7年 9月 15日 ~ R7年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	R7年 9月 20日 ~ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携における個々の特性に応じた支援 (アタッチメント、5領域の視点を踏まえたアセスメント、生活面全体からの支援・生活動作等に繋がる遊び・活動等の提供 等)	本人支援 ・自分で選択する力を育む活動設定、支援提供、環境作り ・さまざまな遊びや活動等において、成功経験とともに失敗経験も丁寧に積みながら、さまざまな場面への適応力を育み、利用者本人が自ら挑戦する（挑戦したい）気持ちや行動を尊重した療育活動の展開	・アタッチメントの形成 ・個々の強みを生かした支援、意思決定支援 ・5領域の視点を踏まえたアセスメント ・多職種連携 ・ニーズに応じた遊びと活動の展開の工夫 ・支援者のスキルアップ
2	・家族支援 (家族通所、親子療育、個別相談、きょうだい児支援、保護者研修、ペアレントプログラム、茶話会、ランチ会、保護者同士のネットワーク作り・ピアサポート活動の取り組み、専門士によるカウンセリング 等)	家族支援 ・こまめな相談援助 ・多職種連携における家族支援（専門士によるカウンセリング等）	・相談援助における支援者のスキルアップ ・いつでもなんでも相談できる（相談しやすい）信頼関係の構築、環境作り
3	・幼稚園・保育園・小学校・関係機関との連携 (利用者本人が安心して過ごせる環境作り、集団スキル獲得に向けた後方支援 等)	移行支援・地域支援 ・移行に向けた後方支援（生活動作の獲得、コミュニケーションスキルの向上、集団行動スキルの獲得 等） ・スムーズな移行に向けた移行先との連携	・幼稚園・保育園・小学校・関係機関との信頼関係の構築、連携体制の強化

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・さまざまな事故、自然災害等が発生した場合を想定しながら、日々研修訓練を行っている中で、発生時におけるフローチャート等の明確化、支援者自身の対応力を身につけることが求められる (課題や改善点というよりは、迅速かつ適切なスキルが求められるため、当項目に記載)	事故、自然災害等が発生した場合への対応力 ・さまざまなケースにおいて迅速かつ適切に対応できるよう業務継続計画（B C P）の作成とともに研修訓練等を実施している、実際に経験がないものだからこそ、より現実的に考え取り組む必要がある (課題や改善点というよりは、迅速かつ適切なスキルが求められるため、当項目に記載)	・引き続き、事業所内研修・法人研修・外部研修等において研修訓練を重ね、緊急対応時における全体の対応力の向上を図っていく (課題や改善点というよりは、迅速かつ適切なスキルが求められるため、当項目に記載)
2	・多様面での支援スキル等において課題や改善点を踏まえた事業所全体のスキルアップ (強みとして記載している項目において、強みとして取り組んでいるからこそ見える課題点・改善点も多い、日々スキルアップ、内容の充実化を図り取り組んでいく)		・引き続き、P D C Aサイクルの充実化、事業所全体で意見交換できる環境作り、課題検討会やケース検討会を通して随時検討して取り組む (課題や改善点というよりは、迅速かつ適切なスキルが求められるため、当項目に記載)
3			

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果					
事業所名	発達支援センターひこばえ（児童発達支援）						公表日 令和 8年 2月 1日	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	回収数
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	1		44
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	1		17
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	1	・実際に子どもがお部屋にいる状況を見たことがないので何ともいえないのですが、子どもからそういったことを聞くことはないので整っているのだろうと思います。	17
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	1	・子どもたちが心地よく過ごせる環境を保てるように毎月の安全点検・毎日の清掃や消毒など、適切な環境作りに配慮しています。	17
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	15	1	0	1	・専門士や多職種と連携しながら、個々のニーズに合った丁寧な支援に努めています。子どもの実態・成長を考慮し、状態などに合わせて随時仲介や個別対応を行っています。 ・トラブルや怪我があった際は、直接またはお電話にて状況説明を行っています。	17
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1	・支援のプログラムの内容を踏まえた支援の実施を行っています。引き続き努めて参ります。	17
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	・本人、ご家族の皆様のニーズに合わせて目標を設定し、全体で共通認識を図りながら日々支援を行っています。 ・担当者、グループ職員、栄養士、児童発達管理責任者、専門士など、多職種で児童発達支援計画の内容を検討し、作成しています。	17
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0	・本人のニーズ、ご家族の要望などを踏まえて児童発達支援計画を作成しています。 ・支援の内容と方向性については、長期と短期目標を立て、ご家族や関係機関と定期的に確認・見直しを行っています。 ・面談以外にも連絡帳・電話・送迎などで情報交換の場を大切にしながら本人の実態把握と支援方法を随時検討し取り組んでいます。	17
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	・本人の実態と児童発達支援ガイドラインの内容を確認し、さまざまなねらいや遊びを取り入れています。子どもたち自身が楽しみながら参加したり学んだりできるよう考慮しています。 ・児童発達支援計画書に基づく記録を行い、実態把握・課題の分析を行っています。幼稚園、保育園、他事業所、相談支援事業所などの関係機関と連携しながら日々の支援提供を行っています。	17

保護者への説明等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0	・個々のニーズに合わせた活動を提供できるように、日々職員間でミーティングやケース会議などを実施して活動内容を検討しています。 ・施設外での研修や学びの場を通して、事業所の支援の質の向上を図っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	0	2	3	・併行通園先や地域の親子教室などの機会を通して、地域のこどもたちと交流する機会が増えているのではないかと思います。 ・当事業所では集団生活・地域参加などにおける後方支援として役割として日々取り組んでいます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0	・利用契約時に重要事項説明書を用いて説明させていただいている。 ・変更があった場合は、行事や面談などを通して全体に説明させていただきたり、個別にお伝えしたりしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	・児童発達支援計画書の内容をご家族に理解していただけるよう、またわかりやすく具体的にお伝えできるよう心掛けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	1	・今年度もペアレントプログラムを実施しました。数名の保護者の方々がご参加くださいり、子育ての大切さや楽しさ、本人に合わせた支援を考える時間を共有させていただきました。 ・その他、保護研修会や行事後のランチ会を実施しました。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	・連絡帳、電話連絡、面談を通して、本人の体調や生活面、活動の様子についてお伝えしています。本人が今頑張っていること・目標にして取り組んでいることなどについて、保護者の皆様と共有できるよう日々のやり取りを大切にしています。 ・本人の様子に変化があった場合は特に、迅速なご報告や対応ができるよう配慮しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	0	0	・答えられない事かもしれませんのが、こちらが気になっていることに対しての助言がないような気がします。ただ、助言も色々あると思うので一概にはないと思います。 ・貴重なご意見ありがとうございます。今後も各職員、事業所全体で丁寧な支援に努めて参ります。 ・半年に1回以上と定期的な面談を実施しています。就学を控える時期、必要に応じて相談や面談のお時間を設けています。 ・何かありましたらいつでもお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1	・今後も事業所全体で丁寧な支援に努めて参ります。
	18	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	2	・保護者研修や親子療育の行事を通して、保護者同士でお顔を合わせて繋がりを作ったり、連携したりできるような企画・実施しています。今後も皆様よりいただいたご意見をもとに開催できたらと思っています。 ・きょうだい児支援を目的とした親子療育や保護者研修も実施しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0	・先生方から就学相談前に、支援学級・通級などどれくらいの勉強の遅れがあるかなどの説明がなかった。放課後等デイサービスについては相談事業所の方は療育先に聞くようにとのことでどこに頼ればいいのか分からず、自分で役所に確認した。 ・ご意見ありがとうございます。今後改善しています。 ・就学に関しては、随時面談や就学に関する研修会、先輩保護者の話を聞く会などを実施しています。今回いただいたご意見も踏まえながら、引き続き丁寧な就学支援も心掛けていきたいと思います。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	1	・ことば、ジエスチャー、写真カードなど、こどもたち自身が自分の気持ちを発信したり、「伝えたい」気持ちを引き出したりできるように個々の実態に応じたアプローチや環境調整に配慮しています。本人の気持ちを汲み取り、寄り添うことを大切にしながら「伝えてよかったです」安心感、「伝えられた」成功体験に繋げられるように支援を行っています。 ・日々の連絡帳、送迎時、電話連絡や定期的な面談を通して、保護者の皆様とやり取りさせていただいている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	0	・法人の会報やホームページ、当事業所の月便り、れんらくアプリを通して、行事予定や活動内容を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1	・個人情報管理規程を整備し、プライバシーへの配慮とともに職員に周知を図っています。こどもたちや保護者の皆様の情報については、情報提供同意書に基づき同意を得た上で情報提供を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	1	・研修と訓練を通して職員へ周知しております。 ・各種マニュアルの整備にあわせて、非常時のマニュアルは玄関に掲示し来所した際にいつでも見ることができるようになっています。重要事項説明書や通所案内に緊急時の対応や感染症対策についての記載もしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	1	・非常に備えて、非常食の備蓄や月1回以上の避難訓練を実施しています。 ・周辺の施設との合同避難訓練も実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	・通所案内にあわせて、安全計画も配布しています。安全計画の内容に基づいて、こどもたちの安全確保のための取り組みを行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1	・連絡はあるが先生とぶつかった、先生が○○していたところにこどもが来たなどが多かった。こども同士ならわかるが少し不安になる。 ・貴重なご意見ありがとうございます。説明不足や言葉足らずなどから、不安や心配をお掛けしました。引き続き、事故や怪我が発生した場合、ご家族には速やかな連絡、必要に応じて通院などと適切な対応を行って参ります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	・ひこばえが楽しいようでお休みの日も突然「今からひこばえ行く！」と言い出すほどです！なのでいつも安心して通所させることができます！ ・嬉しいお言葉をくださり、ありがとうございます。こどもたちが安心して過ごせるように信頼関係作りに努めて参ります。 ・日々のひこばえ生活への見通し、活動への楽しみを持てるように安心できる環境調整に工夫して参ります。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・その日にあった活動を毎日ニコニコで話してくれます。 ・保護者の皆様のサポートもあり、ひこばえに通う楽しみに繋がっていると思います。皆様には日々、感謝の気持ちでいっぱいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・いつも親切に優しくしていただいて、とても満足していますし感謝しております。本当に本当にありがとうございます。 ・多くのご意見等ありがとうございました。今後も当事業所のご利用に満足していただけるように誠心誠意努めてまいります。 ・今回、保護者の皆様からいただきましたご意見を参考にしながら、引き続き子どもたちの成長・発達に繋がる支援を皆様と一緒に考えていくたらと思います。 ・日頃より、当事業所の取り組みについてもご理解・ご協力の程、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援センターひこばえ（児童発達支援）				公表日 令和 8年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの実態に応じてグループ編成を行っています。 ・当日の通所人数に合わせて活動スペースの調整を行うなど工夫しています。 	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・国の指定基準に則って職員配置を行っています。利用児、職員の人数に応じて事業所全体でサポートできるよう職員を配置しています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの実態に応じて写真カードを使用し、声掛けや情報の発信を行っています。 ・具体的に「どこで何をするのか」「どこに何を片付けるのか」等見てわかるように示すことで見通しや安心感とともに、自発性を引き出せるように配慮しています。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検、毎日の清掃・消毒を通して施設内の美化に努めています。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や本人のニーズ等に応じて、個別の部屋や場所を設けています。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・日常の業務や行事等について、職員間で振り返りを行いながら改善に努めています。 ・各々の目標面接カード作成、グループ目標設定を行うことで、一人ひとりが意識を持つて業務に臨めるよう体制を整えています。課題検討会、ケース検討会を設け、随時検討・相談できる体制、分析・改善にいます。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにあわせて、施設の玄関にご意見箱の設置を行っています。 ・電話や連絡帳等を通して日頃からご相談等に対応しています。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議や課題検討会議を通して、職員の意見等を把握し、日々改善等に努めています。 ・職員にアンケートを実施し、意見等を集約し、改善や次年度の計画等に繋げています。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・3年に1度外部評価を受審し、毎年第三者評価の自己評価を実施しています。 ・結果をもとに業務改善に繋がる取り組みに努めています。 	・令和7年12月に第三者評価を受審しました。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の職員研修、定期的な法人内研修を行っています。 ・外部研修にも積極的に参加するように計画を立てて取り組んでいます。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインにおける5領域との関連性を明確にしながら支援プログラムを作成公表しています。 	

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの日頃の様子や保護者との面談を通して得られたニーズを分析し、計画書の作成を行っています。 ・多職種との連携を図りながら検討会議等を実施し、本人の最善の目標・支援内容を作成できるように努めています。 	・今後も引き続き、さまざまな情報をもとに本人のニーズに合わせた適切な支援について保護者の皆様と一緒に考えていきます。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループケース会議の中で3ヶ月評価を実施しています。児童発達支援計画の検討会議では多職種で検討できるように工夫を行っています。 	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に基づき、日課計画案に活動面・生活面の目標を設定することで、児童発達支援計画に沿った支援を行っています。 	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の実態に応じたフォーマルアセスメントの実施、日頃からインフォーマルアセスメントの実施を行い、実態や変化等を把握しながら日々の支援を行っています。 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心とし、児童発達支援ガイドラインで示されている項目を確認しながら支援内容の検討を行っています。 	
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を踏まえて、担当職員を中心に各月の活動プログラムを組み立てています。 ・毎月各グループで療育内容について検討する機会を設けています。 	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の実態やグループの特性に合わせてプログラムを設定しています。 ・進行職員交代制にし、各職員のアイディアを取り入れ検討しながら工夫しています。各々が意見を出しやすい環境作りにも配慮しています。 	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や保護者のニーズを踏まえて発達支援・保護者支援・地域支援を考慮した個別活動、集団活動を組み合わせた計画を作成しています。 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日課計画案を作成し、こどもたち一人ひとりの目標や支援内容について、また職員の役割分担について共通理解を図っています。朝礼等で周知する等全体での共通理解の徹底も図っています。 	・視覚的に役割分担等が分かるように掲示しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを実施し、職員間で良い点や課題点等の意見交換を行い、情報共有を図っています。 ・課題検討会等を通して、次回の実施・改善に繋げられるよう話し合いを行っています。 	・随時必要に応じて、検討会やケース会を実施し、迅速な対応に配慮しています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の支援に基づき、日々の支援を記録しています。 ・記録をもとに活動内容や個々の支援の検証、改善に繋げています。 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に本人と保護者との面談を実施し、支援の達成度や満足度等の把握、児童発達支援計画の見直しを行い、今後の支援の方向性等について確認を行っています。 	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者や担当職員が参加しています。 	

25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域連絡会や公開療育の実施、発達相談会への参加、電話等でのやり取り等連携体制作りを工夫しながら努めています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育等訪問支援を中心に関係機関との連携を行い、本人のニーズに応じて丁寧な移行支援を行っています。 ・移行の際は、利用日数の調整とともに、情報提供シートや移行支援シートも活用しながら丁寧にサポートしています。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートを活用しながら、情報提供を行っています。
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)	○		・地域連絡会や公開療育の実施等を通して、研修や実践、テーマに応じた意見交換等を行い、サービスの質の向上への取り組みを行っています。
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・多職種連携を行い、さまざまな専門士より助言等を受けながら日々の支援に繋げています。 ・外部研修への参加に合わせて、法人内研修や事業所内研修、日々のOJT等を通して、サービスの質の向上やスキルアップを図っています。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・参加した職員より会議等を通して全体周知を図っています。 ・児童発達管理責任者が児童発達支援センター会議等へも参加しています。
31	(31は、事業所のみ回答)	-	-	-
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・併行通園先等での集団生活、地域生活等の後方支援として、役割を担うよう努めています。
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・主に連絡帳を通してやり取りを行っています。その他では送迎時・電話連絡・面談等を通して情報共有を図っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・毎年ペアレント・プログラムを実施しています。他にも就学に関する学習会・先輩保護者の話を聞く会等の保護者研修会を実施しています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に運営規定（契約書）、重要事項説明書の説明を行っています。 ・変更があった場合には、集会や文書にてお伝えしています。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・6ヶ月に1回以上実施している個別面談にあわせて随時面談等を行い、本人や保護者のご意向等を確認する場を設けています。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・当事業所のお便りや集会等を通して、児童発達ガイドラインについてお知らせし、ご家族への周知を図っています。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な個別面談以外にも、随時面談を設けています。 ・日頃から電話や連絡帳等でのやり取りを行っています。

保護者への説明等	39 保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントプログラムや保護者研修、親子療育等の行事等を通して保護者同士で交流する機会を設けています。 ・きょうだい児が参加できる行事も企画しながら交流の場を設けています。 	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・相談・苦情受付窓口、相談・苦情受付担当者、第三者委員を設置していることについて、契約時にお伝えしています。 ・対応等についてはマニュアルを整備し、職員で共通理解を図りながら対応しています。 	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・法人の会報、事業所のお便り、ホームページ等を通して情報を発信しています。 	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理規程を整備し、プライバシーの配慮等職員への周知を図っています。 ・個人情報に関する書類・データ等については鍵付きの棚に保管する等して取扱いに十分注意しています。 	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の実態や特性を踏まえ、絵カードや写真、手本等の視覚的アプローチを積極的に行い、意思疎通ができるように配慮しています。 ・事業所内だけでなく、ご家庭でも取り組んでいただく等、保護者と連携しながら支援を行っています。 	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ、各行事時にボランティアを募集しています。 	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを整備しており、定期的に見直しを行っています。 ・緊急時対応や感染症対応の研修も実施しています。 	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善計画をもとに研修と訓練を実施しています。 ・業務継続計画においては隨時見直しを行い、非常災害マニュアルにおいては、いつでも閲覧できるよう掲示しています。地震・火災・水害等、さまざまな非常災害に備えて、月1回こどもたちと一緒に避難訓練を実施しています。 	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に本人の服薬や予防接種の有無・既往歴・生育歴等の確認を行い、定期的な面談時に変更等の確認を行っています。 ・緊急連絡先の確認にあわせて、緊急時の対応について保護者と確認・共通しています。 	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づいた食事提供を行っています。 	
非常時等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づいて研修や訓練を行っています。 ・月末防災美化点検や日々の清掃等をと沿いて安全管理に十分努めています。 	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を配布し、周知を図っています。毎月の月だよりでひこばえでの取り組み等についてお知らせしています。 	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼、毎月の職員会議でヒヤリハット事例について共通理解を図っています。 ・事例を集計・分析し、対応策等については隨時検討・周知しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人内に人権擁護委員会を設置しています。 ・朝礼での人権擁護ハンドブックの読み合わせ、外部講師による職員研修等を通して、人権に対する意識付けを行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束を行う事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、ご家族に対する十分な説明と、身体拘束の三原則（切迫性・非代替性・一時性）を規定した身体拘束防止マニュアルに則ります。	